
約束(SH)

さなぎ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

約束（SH）

【Nコード】

N2603I

【作者名】

さなぎ

【あらすじ】

（Sound Horizon二次創作小説です）

決戦前夜。

アメテイストスは今は亡き妹へ想いを馳せ、部下・オルフからの感謝の言葉を貰い、決戦への決意と覚悟を固める。

夜空に浮かぶ月を眺めながら。

（時間的には死せる英雄達の前です）

（前書き）

S o u n d H o r i z o n ア ル バ ム 『 M o i r a 』 二 次 創 作 小 説
です。

「わぁ！ 見て！」

空に輝く満月が少女の笑顔を優しく照らしている。

少女はとてもキラキラした目で、ある一点を見つめていた。

月。

少女の視線の先では、月がゆらゆらと揺れていた。

少女はその月に駆け寄ると、ゆつくりと手を伸ばした。

「あ！」

少女の小さな手が月に触れるかと思われたとき、その月はゆらゆらと消えてしまった。

「消えちゃった……」

少女は肩を落とすと、ゆつくりと空を見上げた。

そこには光輝く月があった。

少女はもう一度足下の形を取り戻した月に視線を戻すと、優しく笑って、その月を見つめた。

そして顔を上げると、此方へ小走りで戻ってきた。

「帰ろ！」

そう言っただけ少女は歩き出した。

時々、名残惜しそうに振り返っていたけれど。

そして、ふとこちらを向いて。

「ねえ、エレフ。私達、大きくなっても……」――

時刻は、夜。

本来ならば闇に包まれるべく時間なのだが、今日はより一層明るい月が、辺りを穏やかに照していた。

「閣下」

顔を上げると、そこにはよく見慣れた顔があった。

自分の忠実な部下の一人だった。

どうやら彼も眠れないらしい。

「閣下、とうとう明日ですね……」

そう呟いて、彼は自分の隣に座った。

私は黙ったまま、顔を前に戻した。

「とうとう明日、始まります……」

彼の声はいつもに増して穏やかだった。

「ずっと待ち望んでいた時が、とうとうやってくる……。そう思うと、ゆっくり眠ることもできません」

その声には苦笑の色が混ざっていた。

私がずっと黙って前を向いていると、急に隣で立ち上がる気配がした。

彼は私の視界を遮って、真っ直ぐに私を見つめて、こう言った。

「閣下、ありがとうございます。閣下は私を助けて下さいました。私に復讐するチャンスを与えて下さいました。感謝してもしきれません」

そして彼は一礼して、こう続けた。

「だから明日は必ず閣下のお役に立ちます。ここにいる皆も同じ気持ちです。……だから、一人で背負わないで下さい」

私は静かに目を閉じた。

「では、そろそろ明日のために寝ます。失礼します、閣下」

そう言ってもう一度頭を下げると、彼は走り去っていった。
暫く彼の立っていた地面を見つめて、もう一度瞳を閉じた。

今、この時間。

世界中の人々が安らかな寝息をたてているだろう。

だが、明日。

明日になれば全てが変わる。

いや、全てを“変える”

瞳を開いた。

辺りは相変わらず薄暗く、月だけが輝いている。

私は足に力を入れて、地面があることを感じながら立ち上がった。

そして、ゆっくりと月を見上げた。

不意に、風が吹いた。

その風に紛れて、誰かの声が聞こえた気がした。

風が止むと、何故だか頭の中にふとある一人の人が思い描かれた。

少し、悲しそうな顔をしている気がした。

「ミーシャ……………」

そして、彼はゆっくりと歩き出した。

月明かりが少女の笑顔を照していた。

「ね！ エレフ！」

少女が今、言ったこと。

それがとても嬉しくて、ちょっとだけむず痒くて、だけど当たり前だと思った。

「うん！」

だから、僕は笑って頷いて。

そして、少女と手を繋いで、歩き出した。

ふと、風が吹いた。

それは、二人の笑い声を乗せて、再び駆けていった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2603i/>

約束(SH)

2010年10月28日04時04分発行